

メッセージ

被爆から七十四年目を迎え、核兵器廃絶を求める動きが世界的に広がる中、原水爆禁止二〇一九年世界大会が開催されることは、誠に意義深いものがあると存じます。

平和は、世界共通の願いであり、普遍の哲理であります。

世界唯一の核被爆国であり、核兵器の恐怖を身をもって体験した日本は、世界へ向かって「二十一世紀を核兵器のない世紀」とするため、訴え続けていかなければなりません。

本市においても、恒久平和に向けて、あらゆる国の核兵器廃絶と軍縮が推進されることを強く希求しており、非核平和実現のため、たゆまぬご努力を続けられております皆様方に対し、深甚なる敬意を表するものであります。

今大会が成功されますことを、衷心よりご祈念申し上げます。

令和元年六月

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

非核平和宣言都市

岩手県大船渡市長 戸田 公明